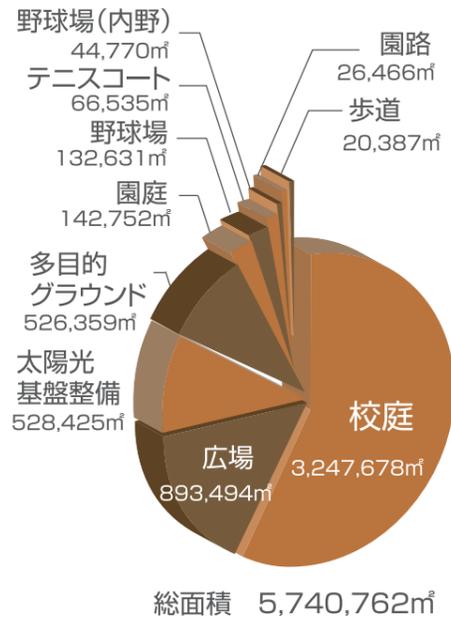
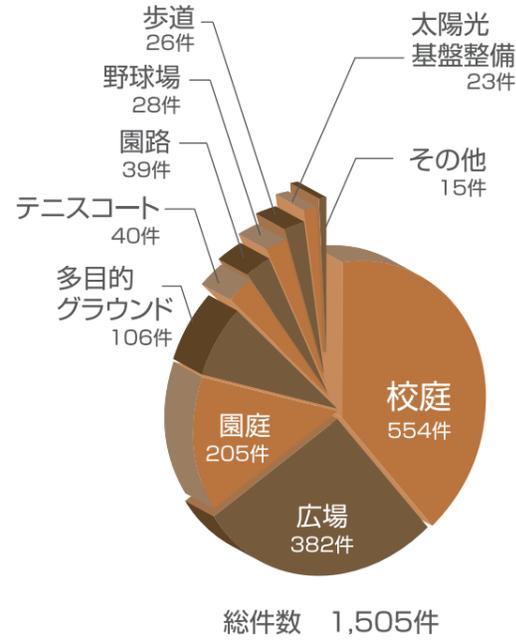


納入実績

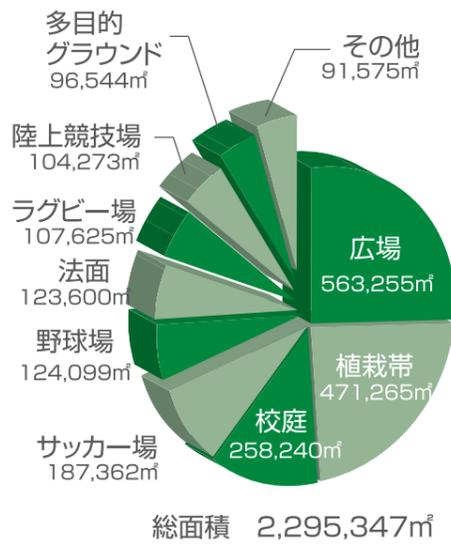
JGS-CC®クレイ
施工面積内訳



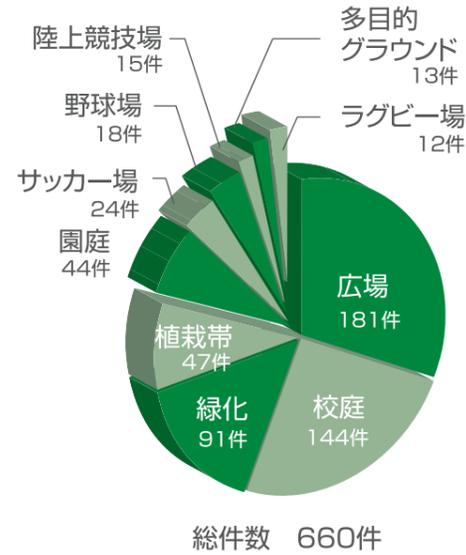
JGS-CC®クレイ
施工件数内訳



JGS-CC®グリーン
施工面積内訳



JGS-CC®グリーン
施工件数内訳



※総実績は平成26年8月現在

株式会社ジャングリーンシステム

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-12 F-1ビル 6階
TEL:03-5776-1451 FAX:03-3435-7075
E-MAIL:info@jgsc.com Web:http://jgsc.com

JGS 土壌改良

検索

JGS

ニュース



2020年
東京オリンピックに向けての緑化について
21世紀緑化研究会とは

長崎がんばらんば国体
雲仙市特設馬術競技場

国立第二小学校の校庭芝生化
「生徒に安全に運動して欲しい」「環境教育をやりたい」

JGS-CC®クレイ
JGS-CC®グリーン

納入実績

株式会社ジャングリーンシステム
専務取締役
山本 夢人
Yamamoto Yumehito

21世紀緑化研究会 理事長
明治大学教授 農学博士
興水 肇
Koshimizu Hajime

深秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
この度JGSNEWS秋号が出来上がりましたのでお送りいたします。
今後も新しい情報をお届けして参りますので、引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Interview

2014.10.24

21世紀緑化研究会理事長
明治大学教授 農学博士

輿水 肇 教授



2020年東京オリンピックに向けて各地で計画・設計と、準備が進められていますが、都市緑化もその一つです。

今回は、21世紀緑化研究会理事長であり、明治大学教授 農学博士の輿水教授にお話を伺いました。

■ 農学博士 輿水教授の研究

屋上緑化と太陽光発電が両立し、共存させるための研究を行っています。昨今、屋上にソーラーパネルを設置するケースが非常に多くなっており、今まで進められていた屋上緑化への関心が薄れつつあります。このような時代の流れの中、屋上緑化の再興を目指し、両者の共存ができないかということを中心に研究を進めています。

■ 21世紀緑化研究会とは

緑化や環境、自然再生の方法、さらには、その管理方法を研究し、講義活動等を通じて、多くの方々に"緑化とは何か" "環境とは何か"を広く理解してもらい、日本の緑化を促進するために発足された研究会です。

21世紀緑化研究会 <http://21green.jp/>

■ 2020年東京オリンピックにむけての緑化について

現在決まっているテーマはコンパクトなオリンピックです。したがって、それに関わる都市緑化は限られた空間を用いて、密度が高く、質の高い緑化、いわば鮮麗された日本庭園のような緑化が求められていくと思います。

しかし、欧米の気候とは違い、日本は温暖な気候であり、雨量も多く、求められている植物以外にも、雑草等が生えやすくなってしまい、きめ細かい緑化をするには過酷な環境です。そのためには植栽土壌の大切さ、管理の大切さをより深く理解し、緑化をすすめていかなくてはなりません。

次号に続く

長崎がんばらんば国体 雲仙市特設馬術競技場



2014年10月17日から21日まで特設馬術競技場（雲仙市）で馬術競技が開催されました。こちらの競技場を作り上げるにあたって、大会関係者の方々は「選手も馬も喜ぶ最高の馬場を作りたい」という想いがあったようです。そこで、過去大分国体で好評であった弊社資材JGS-CCクレイが採用されました。

JGS-CCクレイは土壌の透水性、保水性を向上させ、雨が降ってもぬかるみにくく、競技を行う上で安定した地盤を作ることができます。関係者の方からは「水はけや締まりがよく、馬がコーナリングする際もグリップ力があつたため、脚への負担が軽減され、本当に良い馬場ができた。」とお言葉を頂きました。大分国体同様、高評価をいただき、大変嬉しく思っております。

今後も様々なニーズにお応えし、素晴らしい運動施設を提供できますよう尽力いたします。



校庭

国立市立国立第二小学校の校庭芝生化

平成26年7月にJGS-CCグリーンを採用して頂いた、国立第二小学校にて、10月初旬に取材を行いました。国立第二小学校の芝生化には「生徒に安全に運動してほしい」「環境教育をやりたい」等、多くの人の思いが校庭芝生化を実現させたようです。7月下旬の施工後、夏休み期間で養生をしていた夏芝はとても青々と育ち、二学期の始まりとともに校庭が使用出来たそうです。JGS-CCグリーンによる保肥性の向上も芝の生長に大きく貢献しています。



オーバーシードの様子
撮影日：平成26年10月8日

現在は、オーバーシードをしている最中で、冬芝（1年草）の種を蒔き、養生期間中とのこと。片面(左側)は、先に種蒔きを終えてすでに青々としていました。

また、芝の管理は学校、生徒、地域住民の協力の元、行われており、緑あふれる景観が地域利用され、ふれ合いの場として活用されています。